

2021 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「AO 入学試験 1 期」

入試問題提出様式

試験科目：「小論文」

日 程：2020 年 10 月 17 日 (土)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

人間発達 学部 子ども発達 学科 _____ 領域

対象コース： _____

[課題]

就学前の子どもたちにとって、保護者をはじめとする身近な大人との関わりは、その成長に大きな影響を与えます。例えば、アメリカの心理学者であるサイモンズ(P.M.)の研究によれば、子どもの性格形成と親の養育態度との深い関係性が明らかにされています。また、世代を超えた「虐待の連鎖」も大きな社会問題となっています。これらを踏まえて、教育者・保育者としての子どもたちとの関わり方について、あなたの考えを述べなさい。

[出題の意図等]

子どもの発達・成長に大きな影響を与える環境の中で、保護者と教育者・保育者の役割をどのように理解しているかを問うことで、教育・保育の学びのレディネスや関心度を評価する。前提条件を活用しながら、ステレオタイプでの判断や自らの体験のみでなく、論理的思考力の基礎を評価する。また、教育者・保育者を目指す学生として、子どもたちとの信頼関係を構築するために、具体的な行動を考察する力についても確認する。

模範解答

人間の成長は機械のように必ずしも画一的ではないし、持って生まれた気質によっても違いは生じる。しかし、例えば、親に甘やかされて育てば、わがままで自己中心的になる傾向は強い。科学的学問的な研究によって導き出された成果をしっかりと学び、それらを活用しての教育・保育活動は重要である。大学においてこれらを学ぶことの意義はここにある。同時にそれらを基礎としつつ、実際の現場において十人十色の子どもたちに接し、その個性を理解した対応も不可欠である。私は、親の養育態度や子どもの個性を知ることで、ひとりひとりに目を配りながら子どもたちと関わることのできるように努力して行きたい。特に子どもの時に親から虐待を受け、自分が親になり、同じような行為を子どもにするという「虐待の連鎖」が見られる場合には、子どもだけでなく、親にも寄り添うことが求められる。

このように保護者の養育力を高めながら、子育ての喜びを共有する保護者支援や家庭支援も含めてトータルで子どもたちに関わって行きたい。そして、子どもたちが主体的に活動できる環境を整え、信頼関係を築けるように努力して行きたい。その信頼関係によって、子どもたちは安心して主体的に行動し、自分の力を発揮できる。そのことは、子どもたち同士で認め合い、協力し合う社会性を育てることにつながる。コミュニケーションが活発になることで、他者への思いやりや言葉の発達を促すことになり、好奇心や探求心を引き出せるような環境づくりも可能になる。

「三つ子の魂百まで」と言われるように、就学前や就学直後の子どもたちとの関わりのある方は、その後の人生に大きな影響を与えることになる。私は、このような仕事に就くことを誇りと感じ、天職と考えている。子どもたちの想いや考えを受け止めながら、それらをフィードバックさせることを何度も繰り返しながら、自分自身も共に成長したい。